

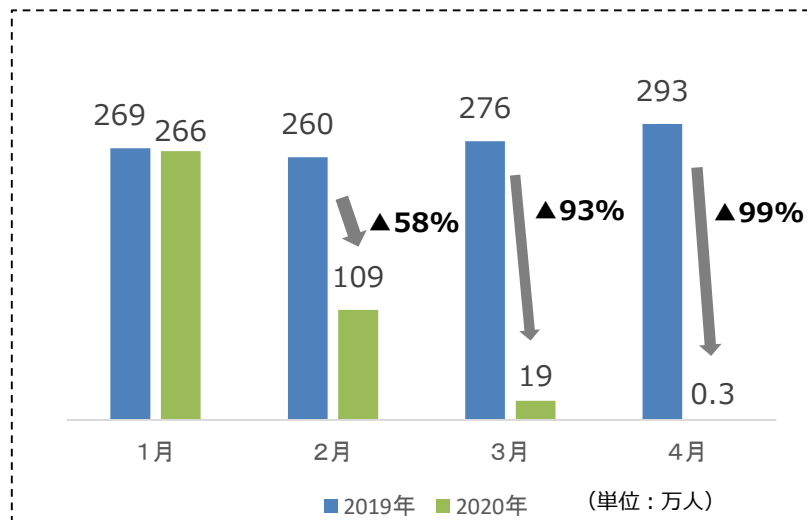
新型コロナウイルスによる 観光・文化・スポーツ・国際関連事業への影響

観光分野への影響 ～外国人旅行者数・延べ宿泊者数～

- ▶ 外国人旅行者数は、新型コロナウイルスの影響により激減し、4月は前年同月比で99%減。
- ▶ 外国人延べ宿泊者数は、全国的にも激減しており、大阪においても同様の傾向。

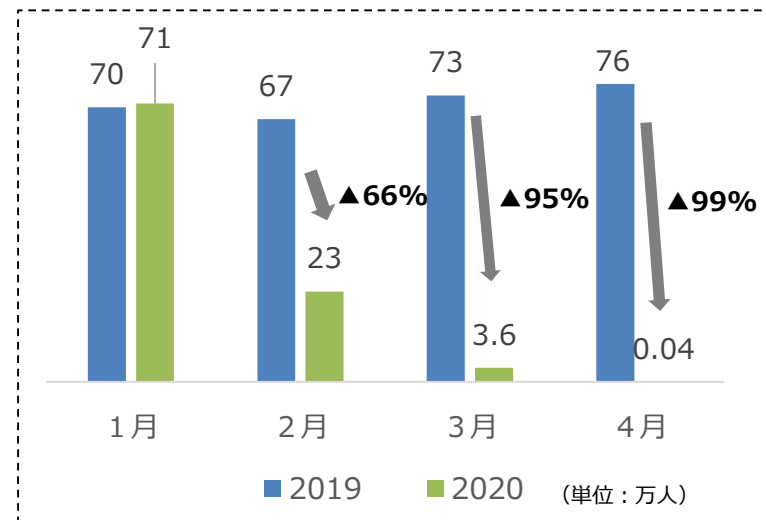
※6月15日現在（速報値等含む）

<外国人旅行者数（全国）>



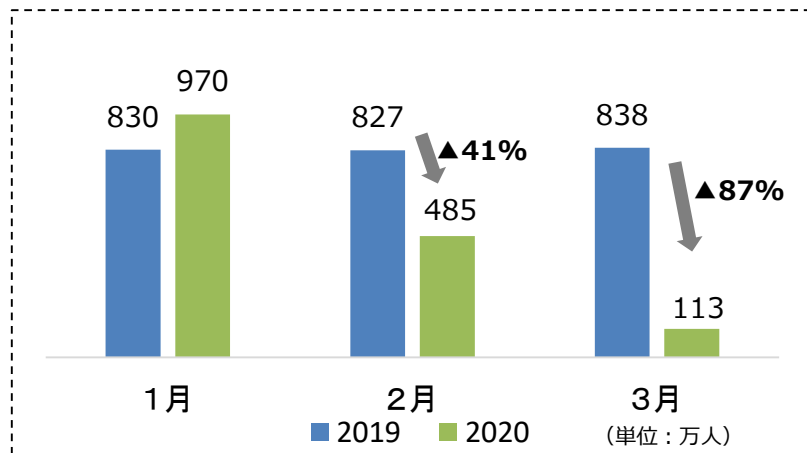
(日本政府観光局：訪日外客数)

<関空外国人入国者数>



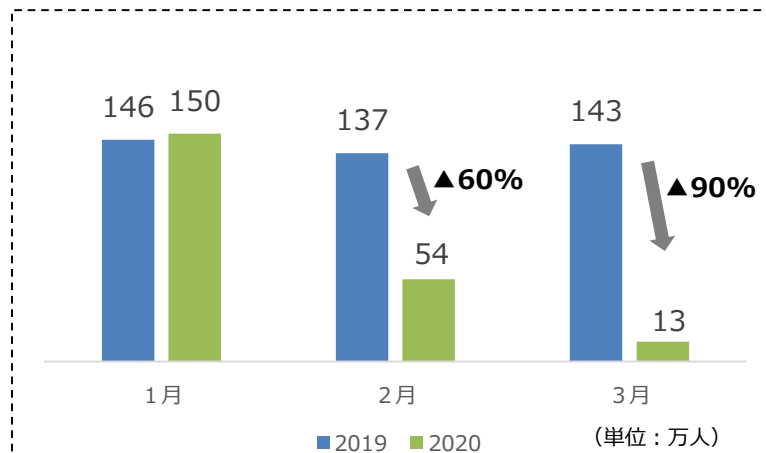
(法務省：出入（帰）国者数)

<外国人延べ宿泊者数（全国）>



(観光庁：宿泊旅行統計調査)

<外国人延べ宿泊者数（大阪）>

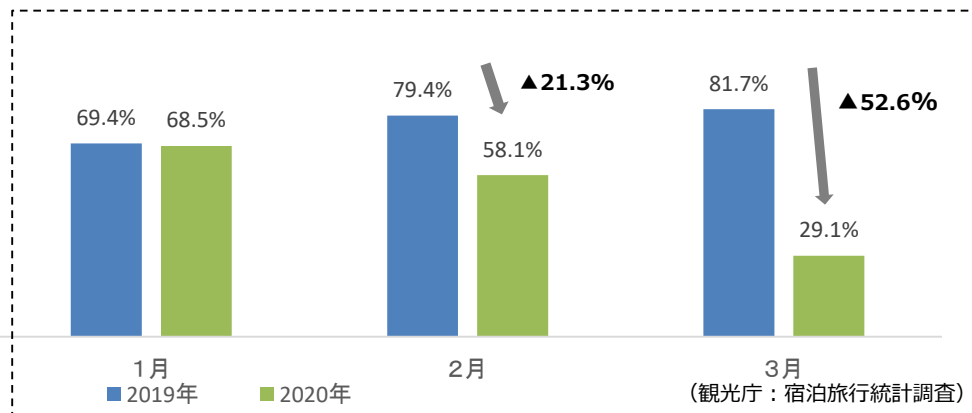


(観光庁：宿泊旅行統計調査)

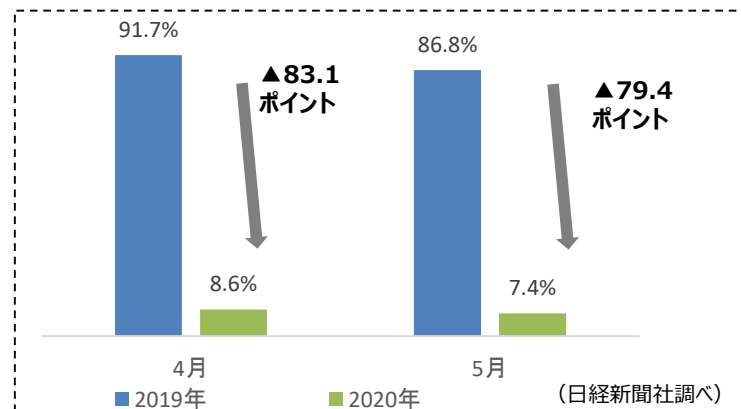
観光分野への影響 ～宿泊施設の状況～

- 宿泊施設の稼働率は大きく減少。
- 大阪市内の主要13ホテルの平均客室稼働率は4月、5月時点でそれぞれ8.6%、7.4%まで低下している。

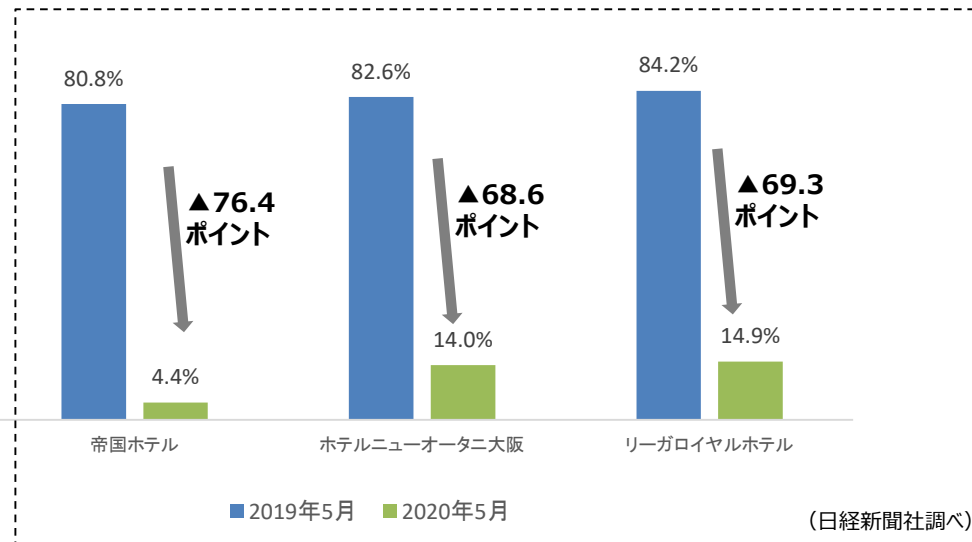
《客室稼働率の推移（大阪）》



(大阪市主要13ホテル)



《大阪の主要ホテルの稼働状況》



(参考) 観光産業における倒産状況

・新型コロナウイルスに関連倒産は全国で156件で倒産が多い産業として、

1位：宿泊業 34件

2位：飲食業 19件

3位：アパレル・雑貨小売業 14件

➡観光産業に関連した事業者の倒産が多くなっている。

(帝国データバンク：5月18日時点 新型コロナウイルス関連倒産)

MICE 関連施設への影響

- 大型イベント開催自粛要請を契機に、2月以降規模の大小を問わずほぼすべてのMICE案件が中止・延期となった。今後も、段階的緩和の目安の制限を遵守するためには、中止、延期、縮小、Webによる代替開催等の判断が主催者に求められる。
- 大阪府内における主要なMICE関連施設においても予定されていた催事等について、中止や延期が相次いだ。

<6～8月の主な催事等開催状況> (各施設ホームページ(6月10日現在)より作成)

○グランキューブ大阪

イベント名	期 間	対応
第108回日本美容外科学会	6月2日～3日	中止
第44回日本頭頸部癌学会	6月5日～6日	中止
第10回エスティックグランプリ グランプリファイナル	6月9日	延期
第65回日本透析医学会学術集会・総会	6月12日～14日	WEB開催
第76回日本弱視斜視学会総会 第45回日本小児眼科学会総会 合同学会	6月26日～27日	WEB開催
ECOS2020,第33回エネルギーシステムの効率、コスト、最適化、シミュレーションおよび環境影響に関する国際会議	6月29日～7月3日	中止
International Workshop on Symbolic-Neural Learning (SNL2020)	6月30日～7月1日	中止
第9回日本くすりと糖尿病学会学術集会	7月18日～19日	延期
第75回近畿消化器内視鏡技師学会 第50回近畿消化器内視鏡機器取り扱い講習会(基礎編)	8月2日	

○インテックス大阪

イベント名	期 間	対応
建築材料・住宅設備総合 KENTEN2020	6月11日～12日	中止
防災防災総合展2020	6月11日～12日	延期
第15回関西エクステリアフェア2020	6月11日～12日	中止
第4回教育総合展(EDIX関西) 第4回【関西】教育ITソリューションEXPO 第4回【関西】学校施設・サービスEXPO 第2回【関西】STEAM教育EXPO 第1回【関西】保育・幼稚園ICT化EXPO 第1回【関西】人材育成・研修EXPO	6月17日～19日	延期
FOOMA JAPAN 2020 大阪国際食品工業展	6月23日～26日	中止
【関西】外食ビジネスウィーク2020	7月1日～3日	延期
アジアニルフェスティバル イン 大阪2020	7月12日～13日	中止
進路のミカタLIVE 大阪会場	7月14日	中止
福祉の就職総合フェア2020 in OSAKA	7月18日	中止
メンテナンスレジリエンスOSAKA 2020	7月29日～31日	
第6回国際ドローン展	7月29日～31日	
プラントショー-OSAKA2020	7月29日～31日	
第3回自動化・省人化ロボット展	7月29日～31日	
第12回生産システム見える化展	7月29日～31日	
第12回関西ホテル・レストランショー	7月29日～31日	
気象・気候対策ビジネスWEEK2020(夏) 大阪	7月29日～31日	
下水道展'20 大阪	8月18日～21日	中止
関西ロボットワールド2020	8月27日～28日	延期

文化・スポーツ関連イベント等への影響

- 新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止・延期などが相次いだ。緊急事態宣言解除後は、新たな生活様式に基づく公演等が開始されつつある。

《イベント中止・休止等（例）》

ジャンル	イベント名	開催場所	期 間	対応
祭り	天神祭奉納花火	大川周辺	7月24日～25日	中止
	なにわ花火大会	淀川周辺	8月22日	中止
演劇	エリザベート	梅田芸術劇場	5月11日～6月2日	中止
伝統芸能	7月大歌舞伎	大阪松竹座	7月3日～27日	中止
コンサート	メトロック2020	海とのふれあい広場	5月16日～17日	中止
スポーツ	大相撲大阪場所	エディオンアリーナ	3月8日～22日	無観客
	プロ野球	—	6月19日～	当面無観客
	Jリーグ	—	J 1:7月4日再開 J 2:6月27日再開 J 3:6月27日開幕	当面無観客 7/10～上限5千人まで 8/1～収容人員50%まで
	第102回全国高等学校野球選手権大会	甲子園	8月10日～	中止 各都道府県により独自の代替大会の開催を検討

◆ 府内におけるライブ・エンターテインメント公演自粛の影響

公演数：935本、動員総定数：約199万人 売上見込額：▲231億円 （大阪ライブ・エンターテインメント連絡協議会 要望より）

《緊急事態宣言解除後の公演等（例）》

◆ 大阪府文化芸術活動（無観客ライブ配信）支援事業プロモーションライブ（6月7日）

出演：BURNOUT SYNDROMES、矢井田瞳、KANA-BOON 無料

国際化関連への影響

- 大阪府・市の外国人相談において、本年1月以降、新型コロナウイルス感染症関連の相談が急増している。
- 外国人留学生の就職の内定・内々定率は、例年日本人学生の半分程度だが、今年は1/4程度にとどまっている。
また、海外にいる日本人留学生は、約8割が留学生生活に大きな影響を受けており、就職活動への影響は9割を超えている。

《外国人相談における新型コロナ感染症関連の相談実績

	R2.1月	R2.2月	R2.3月	R2.4月	R2.5月	計	全相談件数計 (対前年1～5月比)
OFIX	1件	60件	185件	202件	54件	502件	1300件 (181%)
ihouse	11件	85件	187件	292件	238件	813件	1692件 (148%)
計	12件	145件	372件	494件	292件	1,315件	2992件 (161%)

【コロナ関連主な相談内容】

- ・健康医療関連（体調が悪い。検査を受けたい。陰性証明が欲しいなど。）
- ・労働相談（雇止めや給料未払など）
- ・公的支援（特別定額給付金など）

OFIX …公益財団法人大阪府国際交流財団
ihouse…財団法人大阪国際交流センター

《留学生の就職活動への影響》

○ 外国人留学生（2020年9月～2021年3月卒業予定）へのアンケート調査（5月中旬実施 302名回答）

出典：株式会社アクセスネクステージ調査

- ・調査時点での内定・内々定保有者 12.9%

※日本人学生の内定・内々定率は5月1日時点で45.7%
 (リクルートキャリア調べ)
- ・日本にいるが就職活動を中断 23.8%
- ・留学生採用企業の紹介を希望 75.2%
- ・留学生活への影響
 - アルバイト収入が減少 72.8%
 - 家族から帰国を希望された 22.2%
- ＜その他意見＞
 - ✓ 家賃が払えない
 - ✓ 在留資格更新に不安

○ 日本人留学生（2021年12月までに卒業予定）へのアンケート調査（4月上旬実施 273名回答）

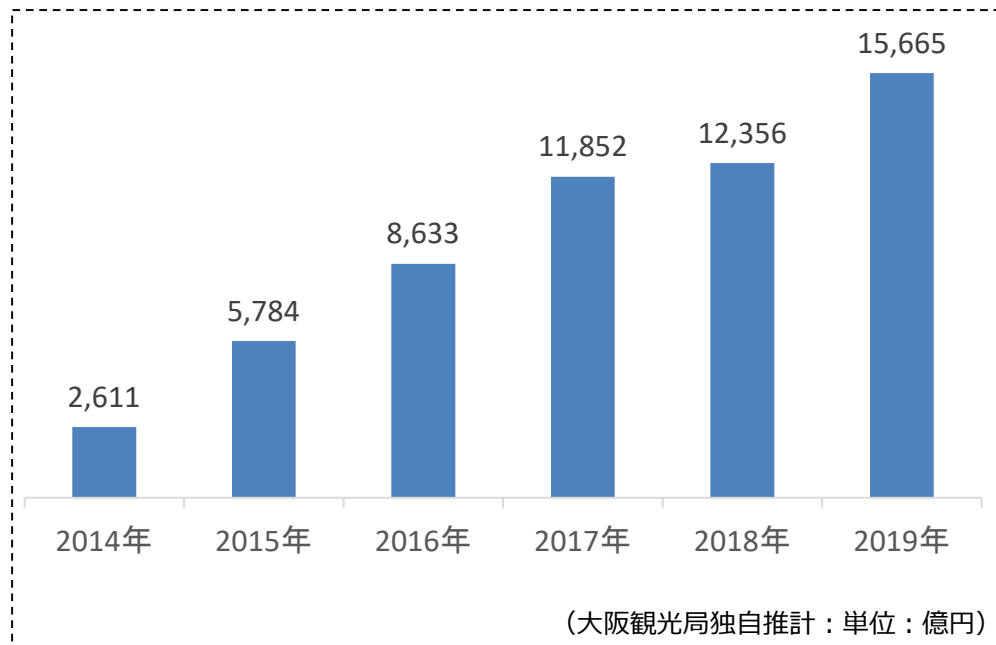
出典：株式会社ディスコ調査

- ・留学生活への影響
 - とても影響がある 80.2% やや影響がある 15.8%
- ・本来は留学中だが、コロナの影響で留学を終了 16.48%
- ・就職活動への影響
 - とても影響がある 58.5%、 やや影響がある 34.4%
- ＜自由回答＞
 - ✓ 海外での選考が中断し、国内選考への移行を求められ、最初からやり直しになった。
 - ✓ 一時帰国できなくなったため、エントリーできる企業が限られてしまった。

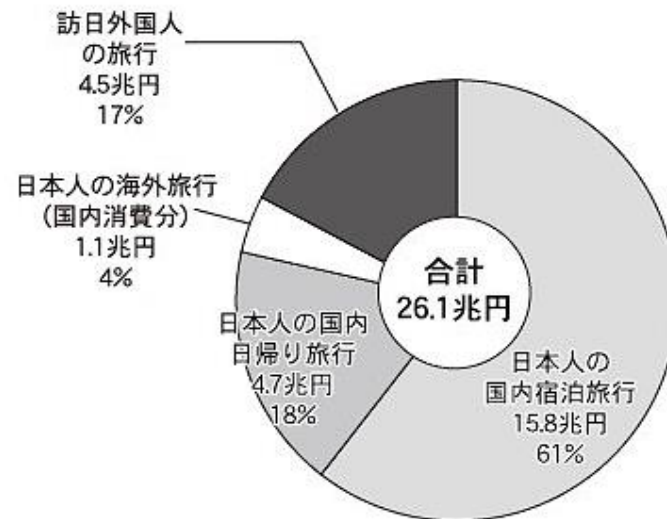
(参考) 旅行消費額

- 来阪外国人旅行者の消費額は、計画策定時（2015年）から大幅に伸びを示してきたが、全国レベルにおいても、旅行消費額に占めるインバウンド消費は2割弱という状況

<来阪外国人旅行消費額の推移>



<2018年の日本国内における旅行消費額26.1兆円の内訳>



(観光庁：旅行・観光消費動向調査・訪日外国人消費動向調査)

(参考) 外出自粛の段階的緩和の目安

内閣官房：移行期間における都道府県の対応について

- 「新しい生活様式」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底・継続。
- 感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、外出自粛の強化等を含めて、国と連携しながら、都道府県知事が速やかに協力を要請。その際、専門家によるクラスターの発生原因やそれへの有効な対策等に関する分析を出来る限り活用（業種別ガイドラインの改定にも活用）。緊急事態宣言が出た場合、対策を強化。

時期	外出自粛	
	県をまたぐ移動等	観光
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	△ * 不要不急の県をまたぐ移動は避ける（これまでと同じ）。	△
ステップ① 6月1日～	○ * 一部首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）、北海道との間の不要不急の県をまたぐ移動は慎重に。	* 観光振興は県内で徐々に、人との間隔は確保
ステップ② 6月19日～ * ステップ①から約3週間後		△
ステップ③ 7月10日～ * ステップ②から約3週間後	○	* 観光振興は県をまたぐものも含めて徐々に、人との間隔は確保 * GoToキャンペーンによる支援（7月下旬～）
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日を目途 * ステップ③から約3週間後		○ * GoToキャンペーンによる支援

(参考) イベント開催制限の段階的緩和の目安

内閣官房：移行期間における都道府県の対応について

○ イベント主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意。イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。また、発熱等の症状がある者はイベントに参加しない（無症状で感染させる可能性も）。

<具体的な当てはめ>

時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等 (全国的移動を伴うもの)	お祭り・野外フェス等	
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	○ 【100人又は50% ^(注) (屋外200人)】 *密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【100人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	×	全国的・広域的	地域の行事 △ 【100人又は50% (屋外200人)】 *特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
ステップ② 6月19日～ *ステップ①から約3週間後	○ 【1000人又は50%】 *密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【1000人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	○ 【無観客】 ^(ネット中継等) *無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理	×	
ステップ③ 7月10日～ *ステップ②から約3週間後	○ 【5000人又は50%】 *密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)	○ 【5000人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)	○ 【5000人又は50%】 *感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)		○ *特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日 を目途 *ステップ③から約3週間後	○ 【50%】 *密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 *GoToキャンペーンによる支援	○ 【50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 *GoToキャンペーンによる支援	○ 【50%】 *感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 *GoToキャンペーンによる支援	△ 【十分な間隔】 (できれば2m) *感染状況を踏まえて、判断。	

(注)どちらか小さい方を限度。他の場合も同様。